

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 新日本石油株式会社

上場取引所 東大名札福

 コード番号 5001 URL <http://www.eneos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 進路

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理第1本部IR部IRグループ マネージャー (氏名) 四谷 九吾

TEL 03-3502-1184

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

百万円未満の端数は切り捨てております。

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,123,410	△32.2	81,562	—	110,296	—	52,456	—
21年3月期第3四半期	6,082,426	—	△356,628	—	△351,304	—	△224,522	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	35.98	—
21年3月期第3四半期	△153.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,218,120	1,042,827	22.3	644.94
21年3月期	3,969,730	1,016,306	23.1	627.90

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 940,134百万円 21年3月期 915,405百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	8.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,860,000	△20.7	99,000	—	121,000	—	34,000	—	23.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	1,464,508,343株	21年3月期	1,464,508,343株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	6,798,263株	21年3月期	6,629,916株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	1,457,785,615株	21年3月期第3四半期	1,459,795,777株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

なお、上記業績予想の前提となる仮定等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

(参考)平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	5,070,000	△ 23.9	34,000	—	52,000	—	29,000	97.0	円 銭 19.86

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）における石油製品等の販売状況につきましては、景気低迷等の影響を受けて、産業用燃料を中心に需要が減少いたしました。この結果、他石油会社との相互融通取引等を除いた販売数量は4,531万KL（前年同期比8.7%減）となりました。

連結業績につきましては、売上高4兆1,234億円（前年同期比32.2%減）、営業利益816億円（前年同期比4,382億円の損益良化）、経常利益は1,103億円（前年同期比4,616億円の損益良化）でありました。これは、前第3四半期末において原油価格が急落したことに伴い発生した、たな卸資産の在庫評価による損益悪化影響（総平均法によるたな卸資産の評価が売上原価を押し上げる影響および収益性低下に基づき簿価の切下げを実施した影響）が、反転したことなどによるものであります。なお、在庫影響を除いた経常損失は、石油製品の販売数量の減少およびマージンの悪化ならびに原油、天然ガス価格の下落等による石油・天然ガス開発部門の損益悪化などにより374億円（前年同期比1,111億円の損益悪化）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は4兆2,181億円となり、前期末に比べ2,484億円増加いたしました。これは、原油価格の上昇に伴いたな卸資産が大幅に増加したことなどによるものであります。

当第3四半期末の純資産は1兆428億円となり、前期末に比べ265億円増加いたしました。これは、当第3四半期純利益等の増加要因が配当等の減少要因を上回ったこと、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

なお、当第3四半期末の有利子負債残高は、原油価格の上昇に伴う運転資金の増加等により1兆6,180億円となり、前期末に比べ2,056億円増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期末の自己資本比率は22.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前回（平成22年3月期第2四半期決算公表時）予想に比べ、原油代が高値で推移していることや石油製品市況の低迷によりマージンが悪化していることなどを踏まえ、通期の業績見通しを修正いたします。なお、本見通しは、通期（平均）：原油代69.2ドル/バレル、為替レート93.2円/ドルを前提としております。

（前回公表時：原油代66.0ドル/バレル、為替レート93.2円/ドル）

売上高は、5兆8,600億円（前回予想比1.9%増）となる見通しであります。

原油価格の上昇に伴い、たな卸資産の在庫評価による影響は良化するものの、石油製品のマージン悪化等により、営業利益990億円（前回予想比260億円の減益）、経常利益1,210億円（前回予想比260億円の減益）、当期純利益340億円（前回予想比340億円の減益）となる見通しです。

通期 連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	5,750,000	125,000	147,000	68,000
今回発表予想(B)	5,860,000	99,000	121,000	34,000
増減額 (B-A)	110,000	△26,000	△26,000	△34,000
増減率 (%)	1.9%	△20.8%	△17.7%	△50.0%

なお、上記の業績予想の修正につきましては、本日(平成22年1月29日)「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので、あわせてご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(ア) 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(イ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、石油精製・販売、建設及びその他事業部門において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(ア) 会計処理基準に関する事項の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準によっておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は35,166百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,641百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	230,033	227,533
受取手形及び売掛金	705,604	540,409
たな卸資産	877,653	664,560
その他	209,169	325,986
流動資産合計	2,022,459	1,758,489
固定資産		
有形固定資産		
土地	657,163	663,813
その他(純額)	621,233	672,630
有形固定資産合計	1,278,397	1,336,444
無形固定資産	46,580	48,336
投資その他の資産	870,677	826,454
固定資産合計	2,195,655	2,211,234
繰延資産	5	5
資産合計	4,218,120	3,969,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	496,584	366,208
短期借入金	465,747	382,538
コマーシャル・ペーパー	414,000	242,000
未払法人税等	25,112	30,452
引当金	3,759	4,483
その他	790,537	864,581
流動負債合計	2,195,740	1,890,264
固定負債		
社債	165,039	185,021
長期借入金	563,277	607,894
退職給付引当金	45,990	54,482
その他の引当金	65,046	62,320
その他	140,198	153,441
固定負債合計	979,551	1,063,159
負債合計	3,175,292	2,953,424

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,437	139,437
資本剰余金	275,697	275,698
利益剰余金	528,732	507,371
自己株式	△4,474	△4,389
株主資本合計	939,393	918,118
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35,780	25,534
繰延ヘッジ損益	13,042	9,218
為替換算調整勘定	△48,082	△37,465
評価・換算差額等合計	740	△2,712
少数株主持分	102,693	100,900
純資産合計	1,042,827	1,016,306
負債純資産合計	4,218,120	3,969,730

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,082,426	4,123,410
売上原価	6,224,649	3,835,362
売上総利益又は売上総損失(△)	△142,223	288,048
販売費及び一般管理費	214,405	206,485
営業利益又は営業損失(△)	△356,628	81,562
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,497	18,686
為替差益	6,343	16,302
受取賃貸料	6,017	6,500
持分法による投資利益	5,268	5,541
その他	7,051	7,447
営業外収益合計	49,179	54,478
営業外費用		
支払利息	22,166	17,262
デリバティブ評価損	10,517	3,194
その他	11,171	5,288
営業外費用合計	43,854	25,745
経常利益又は経常損失(△)	△351,304	110,296
特別利益		
固定資産売却益	12,442	7,022
受取保険金	—	2,967
その他	369	686
特別利益合計	12,811	10,676
特別損失		
固定資産除売却損	7,517	18,081
減損損失	8,405	5,768
投資有価証券評価損	8,113	6,310
その他	5,224	5,610
特別損失合計	29,261	35,771
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△367,753	85,201
法人税等	△147,134	27,211
少数株主利益	3,903	5,533
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△224,522	52,456

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

期 別 項 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)
	百万円	百万円
商 品 及 び 製 品	322,349	279,760
仕 掛 品	81,354	88,689
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	473,948	296,109
減 価 償 却 累 計 額	2,234,635	2,200,794
貸 倒 引 当 金	8,050	9,941

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

期 別 項 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
	百万円	百万円
運 賃 諸 掛	79,213	72,767
人 件 費	49,301	49,210

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。